

市長から市民のみなさんへ

81

山陽小野田市長 白井 博文

市の財政が改善傾向にあります

市の財政の健全化を表す指標が若干ではありますが、改善の傾向にあることについて9月議会でご報告しました。その詳細について、市民のみなさんへは次号10月15日号の広報紙でお伝えする予定にしていますが、その一例としては、合併後、一時は赤信号25%の一步手前の24.5%だった実質公債費比率（収入にしめる借金返済額の割合）が平成19年度決算では19.8%まで下がったことなどがあげられます。市民のみなさんの「理解と協力」、職員の「忍耐とがんばり」、そして議員のみなさんの「後押し」があったからこそ、ここまでたどりつくことができました。まだまだ真の意味での財政健全化には長い道のりが待っていますが、今まで暗いところをさまよっていた市の財政が上向きはじめたことについて、この場を借りて感謝の気持ちを申し上げます。

上向き傾向を受けて、いよいよ「合併特例債」の使い道について、9月議会では多くの議員さんからご質問を受けました。合併特例債とは合併した新市が行う事業に対し有利な条件で借り入れができる地方債のことです。山陽小野田市も合併以後、わずかではありますが、合併特例債を利用してきましたが、先ほどお話しした県内最悪の実質公債費比率の数値が示すように、特例債を利用しようにも事業自体に制約がかかる

対話の日

【いずれの会場も19:00から】



10月 9日(木)千崎西集会所
10月23日(木)森本公会堂

状況にあり、新市になった恩恵を市民のみなさんに還元することは難しい状況でした。

来年度以降、この合併特例債を利用して、まずは学校校舎の耐震化事業をすすめることを計画しています。その前段階の調査事業の補正予算、8000万円についても9月議会に計上しました。中国四川大地震などを受けて、国が地方自治体の負担を軽減する法律を成立させたことも事業の本格的取組みを可能とする大きな追い風となりました。

さて、最後になりましたが、下記記事にありますように市史、町史などの刊行物の値下げ販売についてお知らせします。これらの書物は製作から相当の年数が経過し、いつまでも倉庫に眠らせておくのは得策ではないと判断し、思い切って半額にて販売することにしました。まちの歴史を記した読み物として面白いものであることは私が太鼓判を押します。お求めやすい価格になりましたので、今回の機会を逃すことなくお買い求めいただければと思います。

市史、町史、記念誌の販売価格を引き下げます

【問い合わせ先：総務課 ☎ 82-1121 広報広聴課 ☎ 82-1133】



■ 山陽町史 ■

区分	新価格	旧価格
通史	2,000円	4,000円

■ 小野田市史 ■

史料(上)	1,750円	3,500円
史料(下)	2,000円	4,000円
民俗と文化財	2,000円	4,000円
通史	2,250円	4,500円
4冊セット	5,000円	16,000円

お得です!!



■ 夢紡ぐ ■

(小野田市65年のあゆみ)

新価格	旧価格
1,000円	2,000円

◇ 販売場所 ◇

総務課 / 広報広聴課 / 総合事務所地域行政課 / 南支所 / 埴生支所 / 厚陽出張所 / 中央図書館 / 厚狭図書館 / 歴史民俗資料館